

質問
30代の男性です。最近、目がかすみがかったようになり、視力もやや低下してきました。病院では、急性眼炎と言われました。点眼薬で治るのでしょうか。治療に時間がかかりますか。

目がかすみ視力も低下



答え
急性眼炎は、目の炎症を指し、原因は多岐にわたります。ウイルスや細菌、アレルギー、化学物質などによるものがあります。症状は、目の赤み、かすみ、痛み、涙目、分泌物の増加などです。治療は原因に応じた点眼薬や内服薬によるものが一般的です。

「急性眼炎」は、目の炎症を指し、原因は多岐にわたります。ウイルスや細菌、アレルギー、化学物質などによるものがあります。症状は、目の赤み、かすみ、痛み、涙目、分泌物の増加などです。治療は原因に応じた点眼薬や内服薬によるものが一般的です。



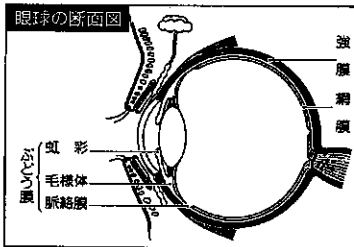
江川麻理子助教

徳島大学病院眼科
徳島市東本町30

この、重症例では失明する恐れがあります。
急性眼炎の原因は、ヘルペスウイルス、サルモネラ菌、原田病が約4割を占めます。その他、アレルギー、糖尿病、ウイルスや細菌などの感染が知られていますが、いろいろ

原因不明です。
症状は炎症が起る部位も種類によって異なります。「急性眼炎」は、目の赤み、かすみ、痛み、涙目、分泌物の増加などです。「慢性眼炎」は、目の赤み、かすみ、分泌物の増加などです。「急性眼炎」は、目の赤み、かすみ、痛み、涙目、分泌物の増加などです。「慢性眼炎」は、目の赤み、かすみ、分泌物の増加などです。

症状に合わせ点眼や内服薬



30代どうも眼炎は全身症状を伴います。ヘルペスウイルス、サルモネラ菌、原田病の腫れが見られる、原田病は眼瞼の腫れを伴います。重症性では目の炎症のように全身症状を伴う疾患では通常、両目に症状が出ます。
特徴的な目の所見から診断がつくものもありますが、急性眼炎は全身の異常に關聯することが多いため、血液や尿の検査、胸のレントゲン撮影、全身症状の確認が重要となります。全身的な検査が完了する場合は、内科での検査が必要となります。
原因が分かれば、治療方針を決めることができます。治療には、点眼薬や内服薬の併用が行われます。
その使い方は、点眼薬は目への注射、内服薬は経口投与となります。
「前部眼炎」は、眼でも十分に効果があることが多いですが、眼瞼の炎症では内服が必要となる場合があります。適切に使用すれば、薬の効く薬ですが、眼圧上昇や血糖上昇などの副作用が出る場合があります。使用中は定期的な検査が必要となります。
眼炎にともなう眼瞼の腫れは、眼薬を投与する薬を併用して治療する必要があります。ヘルペスウイルスやサルモネラ菌による急性眼炎では、免疫抑制剤の使用は特別な薬を使用します。炎症がひどい、原因不明の眼炎、糖尿病性眼炎の合併症が疑われる場合は、目の非特異的な検査を行います。
急性眼炎は、目の赤み、かすみ、痛み、涙目、分泌物の増加などです。治療は原因に応じた点眼薬や内服薬によるものが一般的です。

急性眼炎は、目の赤み、かすみ、痛み、涙目、分泌物の増加などです。治療は原因に応じた点眼薬や内服薬によるものが一般的です。